

国立市のフルインクルーシブ教育について考える会

主催：国立市教育委員会

ソーシャルインクルージョンの考え方をもとに、多様性を認め合うことを大切にしている国立市。学校教育においては、教育大綱に「しょうがいのある児童もしょうがいのない児童も同じ場で共に学び、共に成長するフルインクルーシブ教育を目指す」ことが示され、現在、「国立市のフルインクルーシブ教育」の方向性の検討や実現に向けてのロードマップづくりに取り組んでいるところです。フルインクルーシブ教育は、学校だけでなく保護者、地域の皆様とともに取り組んでいかなければ前に進めていくことができません。

今回は、実際にフルインクルーシブ教育を実践してきた講師の先生とともに「国立市のフルインクルーシブ教育」について考える機会をつくります。是非ご参加ください。



開催日時

10月11日(水) 18:00~20:00
(受付 17:45~)

会場

国立市役所 3階 第1・2会議室

対象

国立市立小・中学校在籍児童・生徒の保護者

講師

元大阪市立大空小学校 校長 **木村 泰子**先生
東京大学大学院教育学研究科 教授 **小国 喜弘**先生

参加方法

会場での参加またはオンラインでの参加

いずれの場合も、以下の登録フォームよりお申込みください。

【URL】

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSctaou4Rj7J_vjP1-vmCuAPXJ-r5e7LHfoUmlQx9Xe1lcSbsw/viewform

【QRコード】



【申し込み締め切り】 令和5年9月29日(金)まで

【会場の定員】 30名

※ 応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。会場での参加の可否は、10月4日(水)に電子メールにてお知らせします。オンライン参加者の方には、同日に参加コードを電子メールにてお送りします。

【講師紹介】



元大阪市立大空小学校 校長

木村 泰子
先生

大阪市立大空小学校初代校長。

「みんながつくる みんなの学校」を合言葉に、全教職員・地域のサポーターが子どもたち一人ひとりを多方面から見つめ、「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことを理念に据えてきた。

「障害」を個性とみなし、その時に最も困っている子どもにとって居やすい環境はなにかを、日々、皆で話し合っ
て工夫することで、全ての子どもが同じ教室でともに学
び、育ち合う教育を追求している。

小学校退職後、現在は、全国で「みんなの学校」を作る活動を支援している。



東京大学大学院教育学研究科教授

小国 喜弘
先生

東京大学大学院教育学研究科付属バリアフリー教育開発研究センター長。

早稲田大学教授、東京大学大学院教育学研究科准教授などを経て現職。

大空小学校の実践研究を行い、インクルーシブ教育の新たな可能性について研究を進めている。

令和5年5月29日に、国立市教育委員会が、同研究科と連携協定を締結したことに伴い、「国立市フルインクルーシブ教育スーパーバイザー」に就任。

国立市が目指すフルインクルーシブ教育の方向性や、その実現に向けたロードマップづくりについて指導・助言を進めている。